

マラウイ共和国
在来種増養殖研究計画
終了時評価報告書

平成 11 年 3 月

国際協力事業団
林業水産開発協力部

序 文

国際協力事業団は、マラウイ政府からの技術協力の要請を受け、マラウイ在来種増養殖研究計画を平成8年4月から3年間にわたり実施してきました。

当事業団は、本計画の協力実績の把握や協力効果の測定を行うとともに、今後両国が取るべき措置を両国政府に勧告することを目的として、平成10年9月20日から10月4日まで、当事業団林業水産開発協力部長 黒木 亮を団長とする評価調査団をマラウイに派遣しました。

調査団は、マラウイ政府関係者と共同で本計画の評価を行うとともに、プロジェクト・サイトでの現地調査を実施し、成果の確認を行いました。そして帰国後の国内作業を経て調査結果を本報告書に取りまとめました。

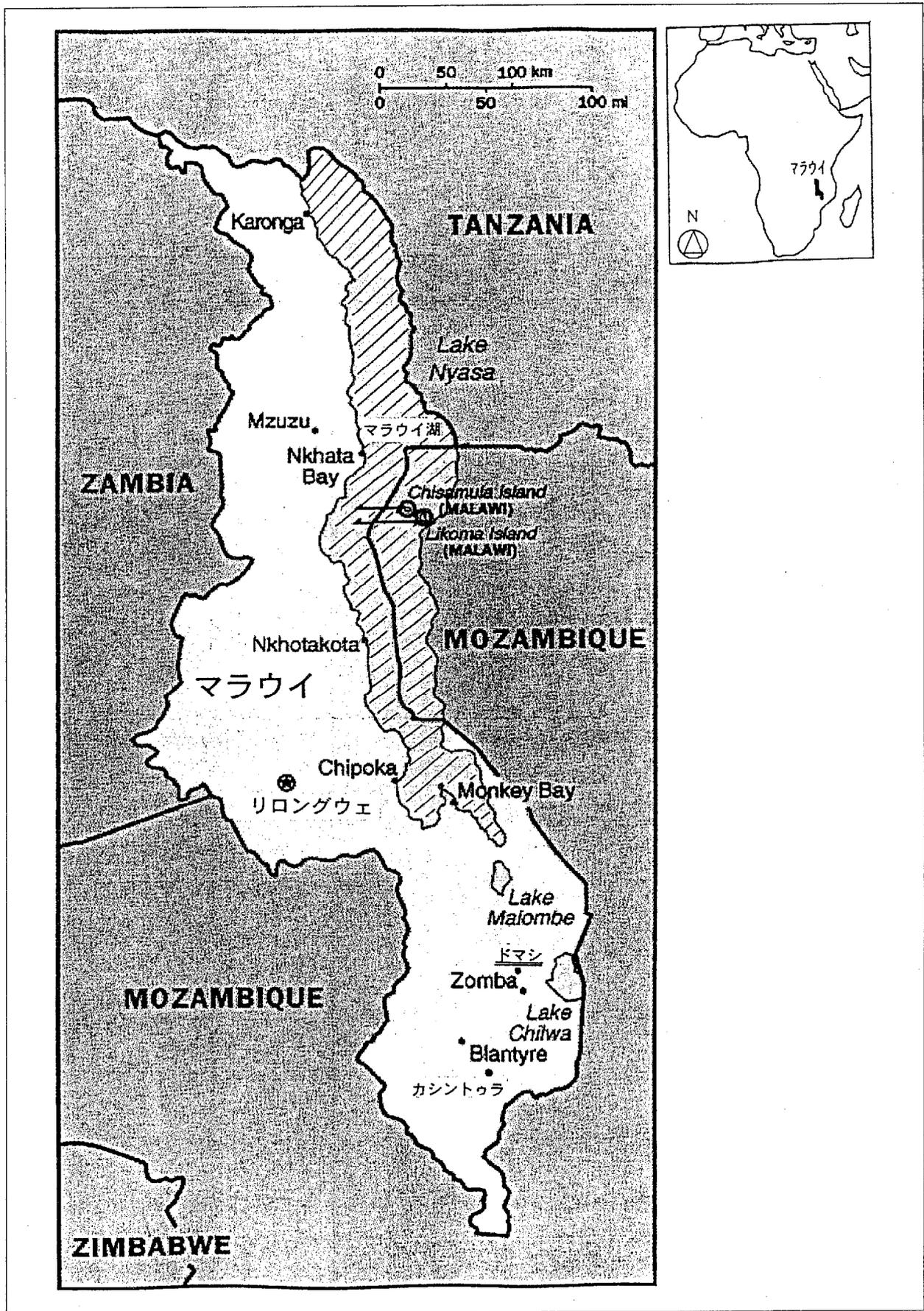
この報告書が、本計画の今後の協力のさらなる発展のための指針になるとともに、本計画によって達成された成果がマラウイの発展に資することを期待します。

終わりに、プロジェクトの実施にご協力とご支援をくださった両国関係者の皆様に対し、心から感謝の意を表します。

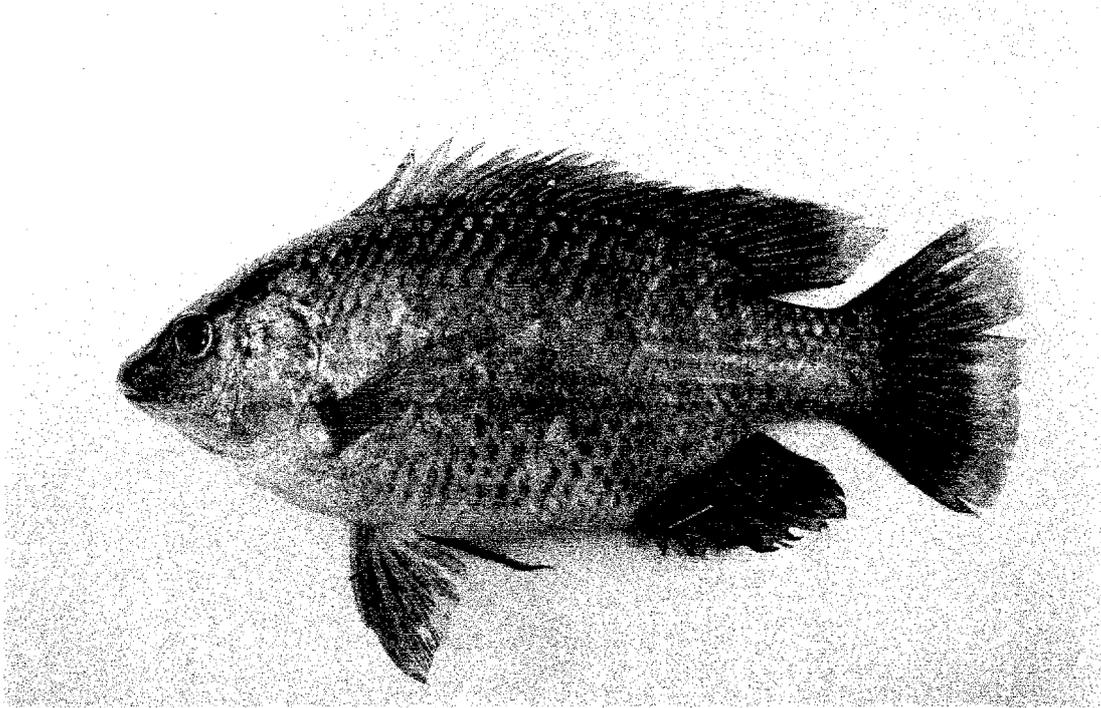
平成11年3月

国際協力事業団
理事 亀 若 誠

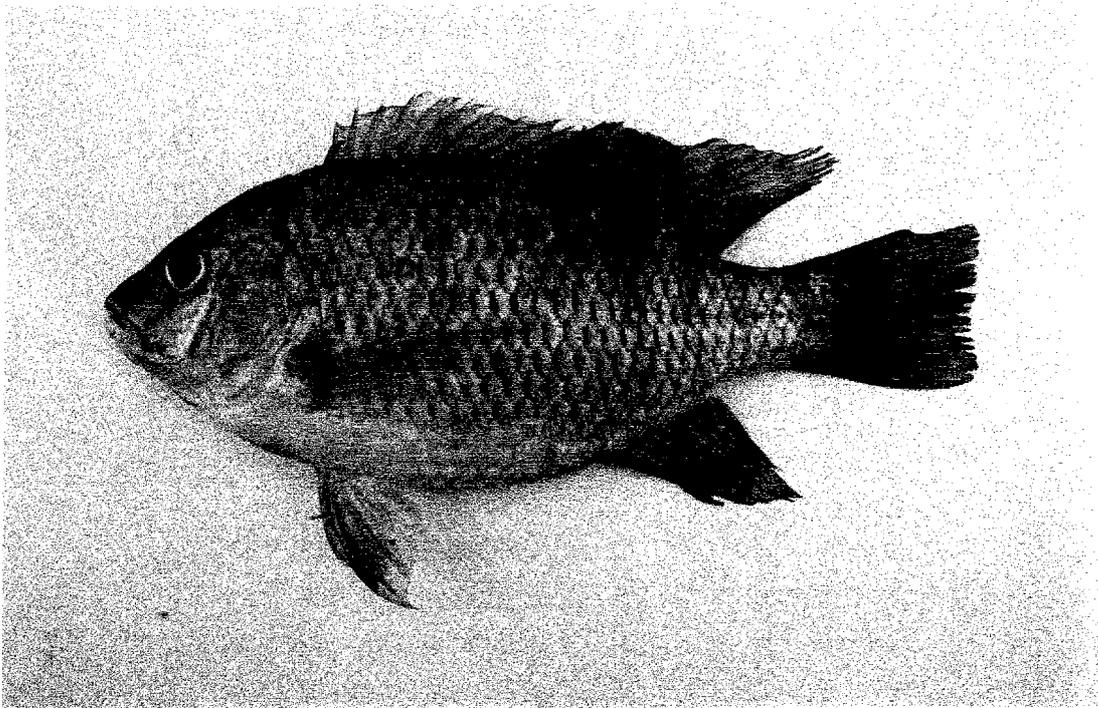
プロジェクト・サイト位置図



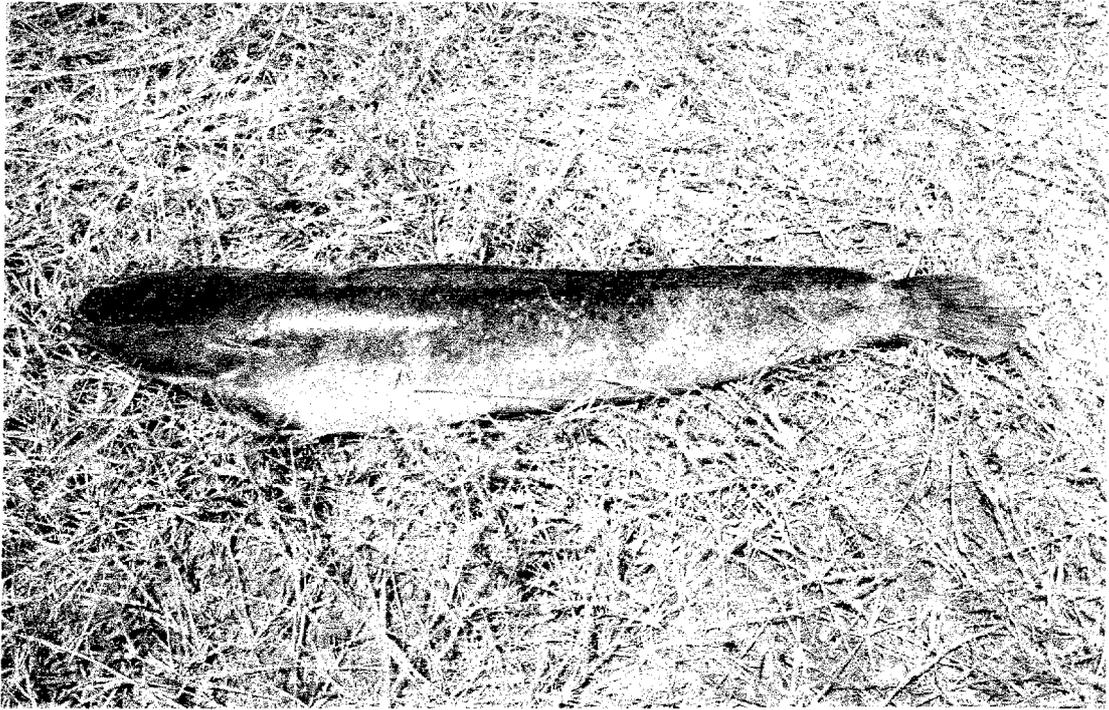
国立養殖研究所ドマシ本場で飼育している魚種（主要9種）



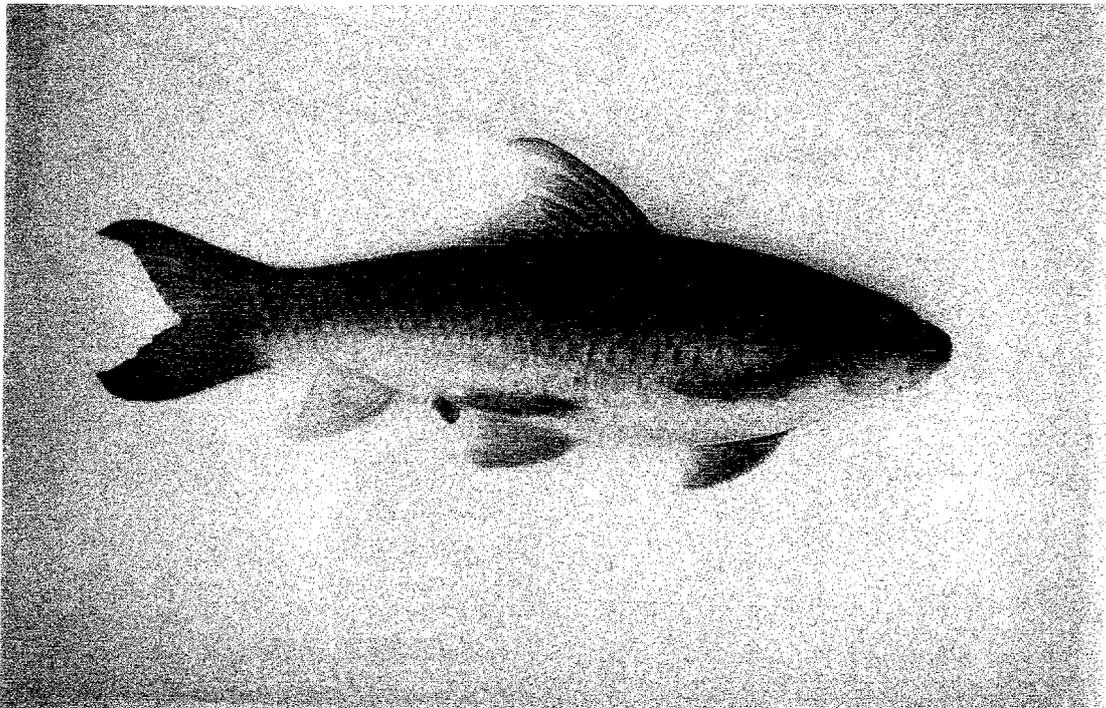
▲テラピア : *Oreochromis shiranus*



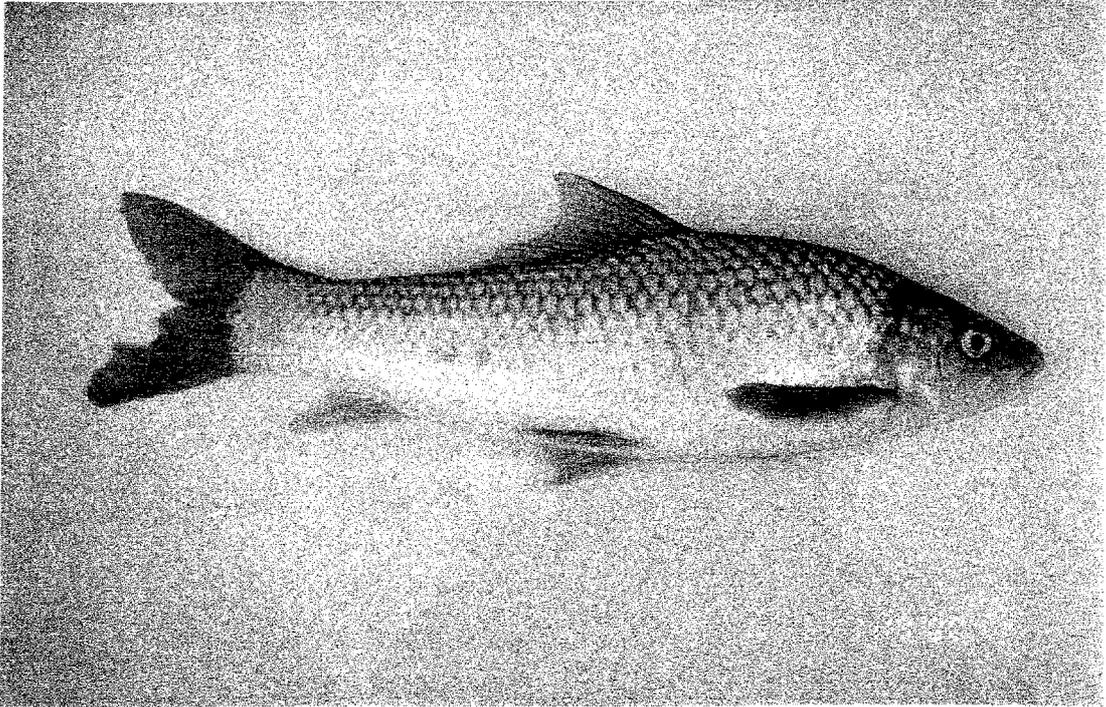
▲テラピア : *Tilapia rendalli*



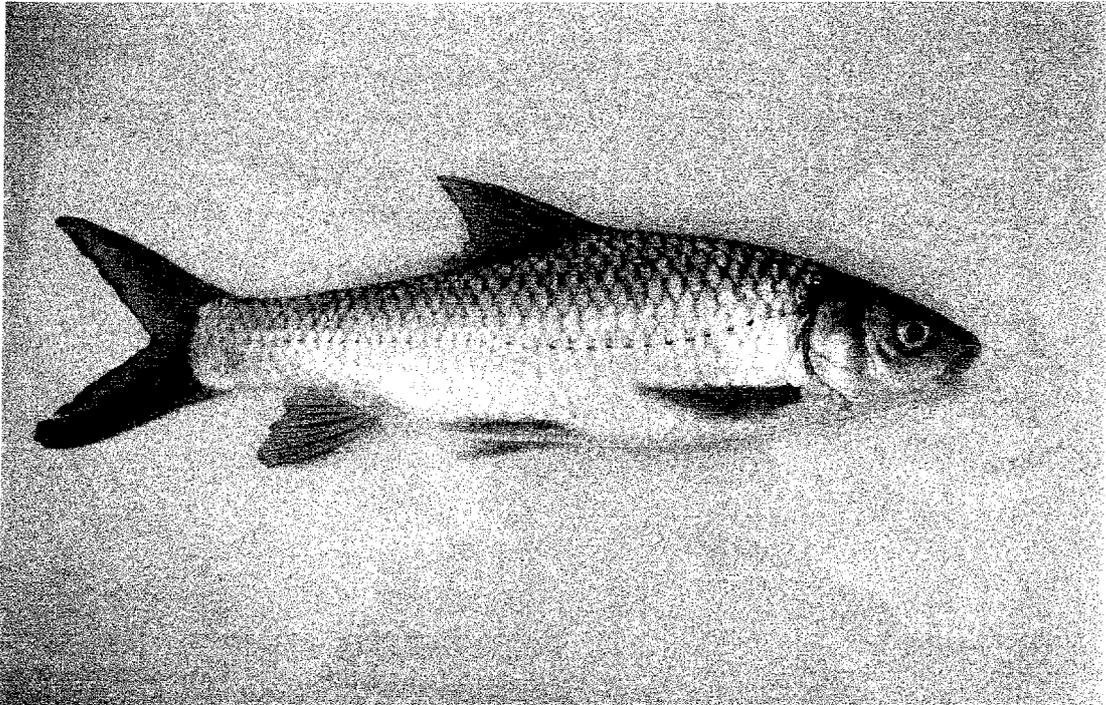
▲ヒレナマズ : *Clarias gariepinus*



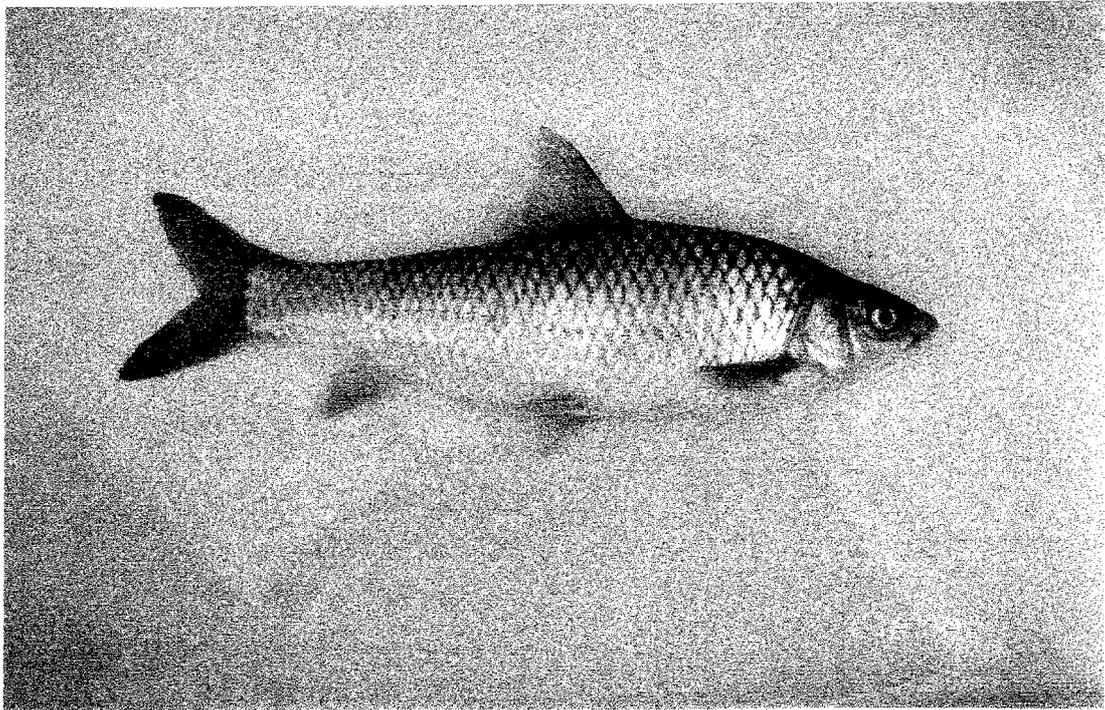
▲コイ科魚類 : *Labeo cylindricus*



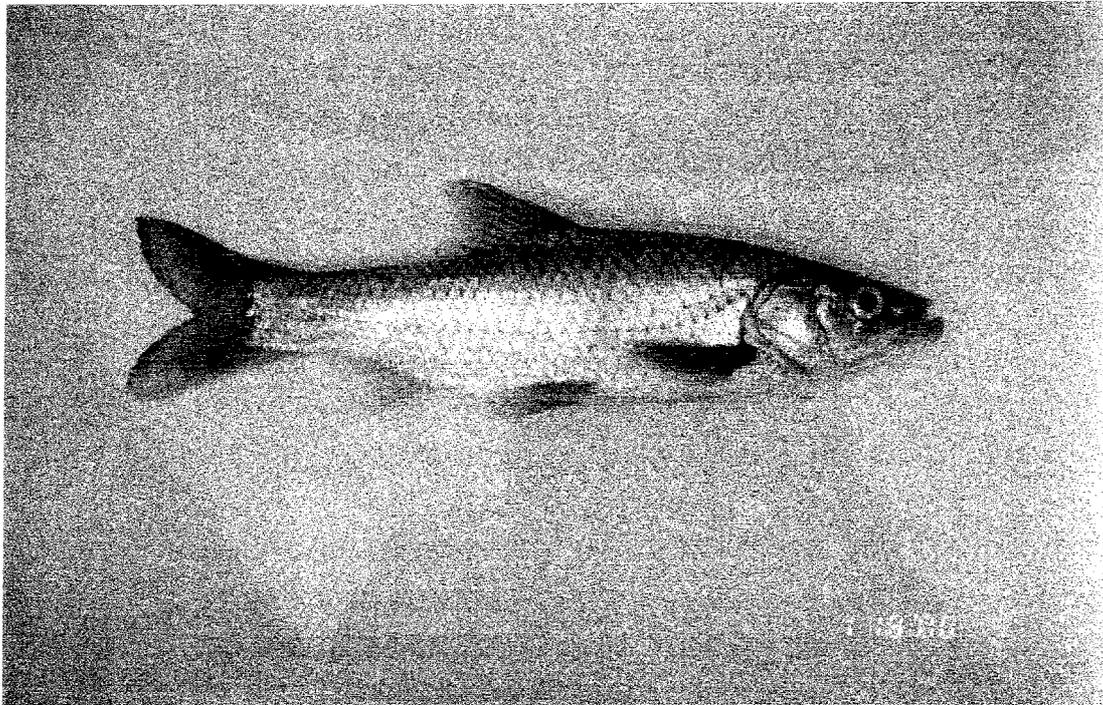
▲コイ科魚類（ンチラ） : *L. mesops*



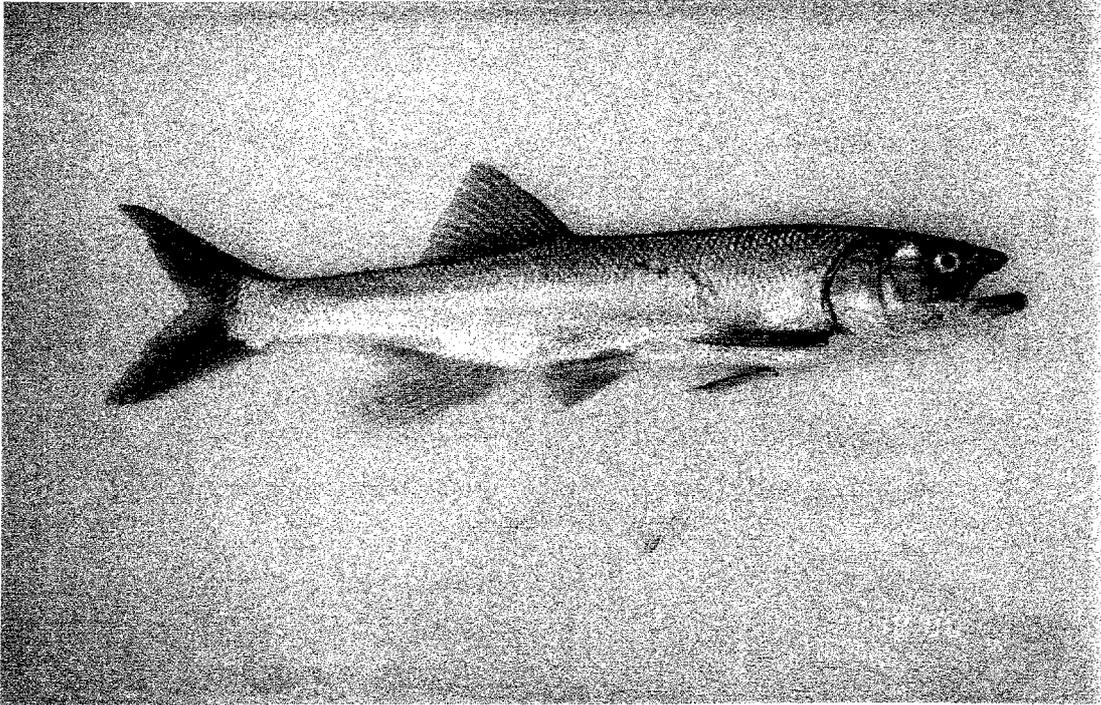
コイ科魚類 : *Barbus eurystomus*



▲コイ科魚類 : *Barbus johnstoni*



▲コイ科魚類 : *Barbus litamba*



▲コイ科魚類（ムバサ） : *Opsaridium microlepis*

目 次

序文

プロジェクト・サイト位置図

写真

| | |
|--------------------------------|----|
| 第1章 要 約 | 1 |
| 第2章 終了時評価調査団の派遣 | 4 |
| 2 - 1 調査団派遣の経緯と目的 | 4 |
| 2 - 2 調査団の構成 | 4 |
| 2 - 3 調査日程 | 5 |
| 2 - 4 主要面談者 | 6 |
| 2 - 5 終了時評価の方法 | 7 |
| 第3章 協力実施の経過 | 8 |
| 3 - 1 相手国の要請内容と背景 | 8 |
| 3 - 2 暫定実施計画（TSI）および実施計画 | 8 |
| 3 - 3 プロジェクトの要約 | 8 |
| 3 - 4 協力実施プロセス | 9 |
| 3 - 5 他の協力事業との関連性 | 10 |
| 第4章 評価結果 | 12 |
| 4 - 1 効率性 | 12 |
| 4 - 2 目標達成度 | 12 |
| 4 - 3 案件の効果 | 15 |
| 4 - 4 計画の妥当性 | 16 |
| 4 - 5 自立発展の見通し | 16 |
| 第5章 フォローアップの必要性 | 18 |
| 第6章 提 言 | 19 |
| 6 - 1 本プロジェクトに関する提言 | 19 |
| 6 - 2 第2フェーズに関する提言 | 19 |

資料

| | | |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 討議議事録（R/D） | 25 |
| 2 | 暫定実施計画（TSI） | 36 |
| 3 | 第1回合同委員会議事録（計画打合せ調査時） | 39 |
| 4 | 合同評価会議議事録 | 56 |
| 5 | 投入実績一覧表 | 70 |
| 6 | 供与機材リスト | 73 |
| 7 | 終了時評価調査表 | 76 |